

2022年3月期決算補足説明資料

(決算短信発表日2022年5月16日)

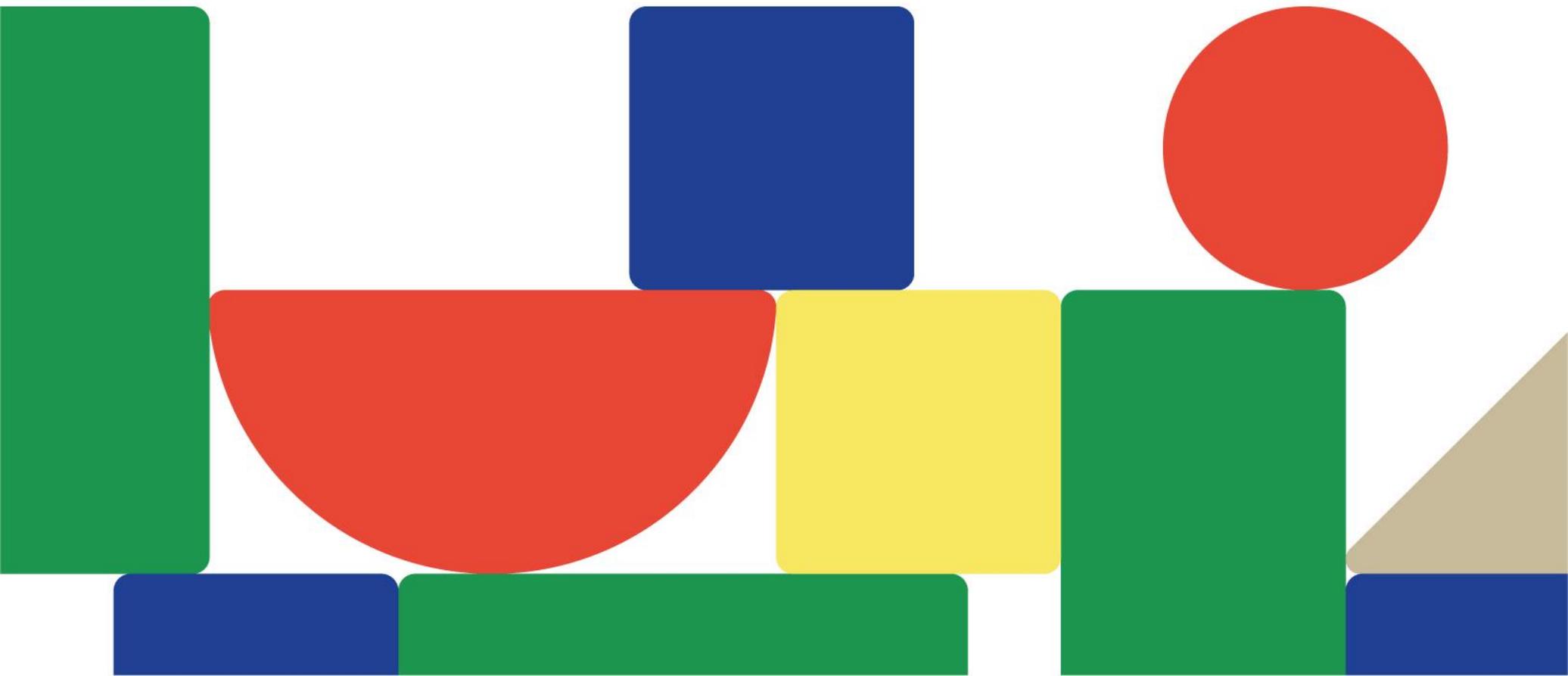
2022年5月27日

株式会社Kids Smile Holdings

証券コード:7084

教育を通じて社会に貢献する

KIDS SMILE HOLDINGS



売上高

106 億円

2021年3月期 91億円

前年同期増減額 **+15**億円(117.0%)

EBITDA

6.2 億円

2021年3月期 3.2億円

前年同期増減額 **+3**億円(192.8%)

運営施設数(2022年3月末現在)

73 施設

前年同月末施設数62施設

前年同期比 **+11**施設

在籍児童数(2022年3月末現在)

4,330 人

前年同月末在籍児童数3,668人

前年同期比 **+662**人

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

※ EBITDA: 営業利益+減価償却費

2022年3月期 通期業績

KIDS SMILE HOLDINGS

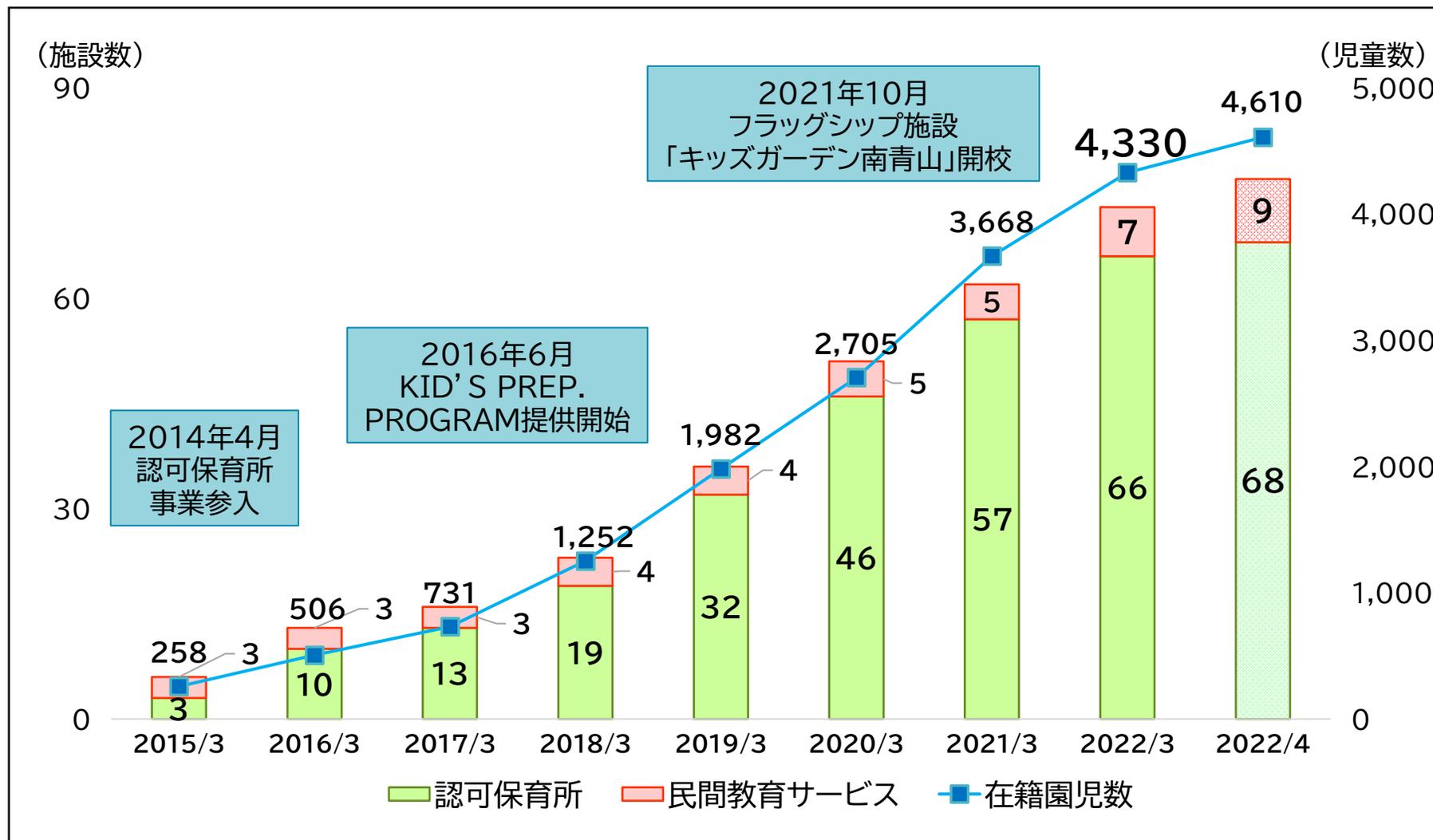
前期より施設数・児童数が増加したことに伴い、増収増益となりました。業績予想においては新型コロナウイルスの影響を一定程度見込んでおりましたが、感染拡大防止の徹底等、様々な対応策に取り組んだこと、および費用の見直しと効率的運営を徹底したことで、予想を上回る着地となりました。

| (単位:百万円) | 2021年3月期 通期業績 | 2022年3月期 当初業績予想 | 2022年3月期 通期業績 | 対前期 増減額 | 主な増減要因 |
|------------------------|------------------|--------------------|------------------|------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 9,113 | 10,450 | 10,659 | 1,545 | 新規11施設開設 既存施設の児童数増加 |
| (EBITDA) ^{※1} | (324) | (245) | (624) | (300) | 売上増加および効率的運 営に伴う収益改善 |
| 営業利益 | ▲382 | ▲590 | ▲214 | 167 | 施設数、児童数の増加等に より収益改善 |
| 経常利益 | 983 | 820 | 1,147 | 164 | 認可保育所9園の開設補助 金が寄与。営業収益の改善 を反映 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 547 | 500 | 686 | 138 | 経常利益の改善による |

※1:EBITDA=営業利益+減価償却費

運営施設数及び在籍児童数の推移

運営施設数の増加に加え、既存施設の在籍児童数も増加してまいりました。



2022年3月期 新規開設園

2022年3月期において、東京都内に認可保育所9園、また民間教育・保育施設として幼児教室・学童施設を1施設、プレスクール一体型保育施設を1施設、計11施設を開設しました。

| 認可保育所 | | | |
|-----------|----------|------|----------------------------------|
| | 開設日 | 所在地 | 園名 |
| 1 | 2021年4月 | 江東区 | キッズスマイル江東塩浜 |
| 2 | 2021年4月 | 江東区 | キッズスマイル江東千石 |
| 3 | 2021年4月 | 杉並区 | キッズガーデン杉並堀ノ内 |
| 4 | 2021年4月 | 杉並区 | キッズガーデン高円寺北 |
| 5 | 2021年4月 | 葛飾区 | キッズスマイル葛飾東金町 |
| 6 | 2021年4月 | 世田谷区 | キッズスマイル世田谷梅丘 |
| 7 | 2021年4月 | 江戸川区 | キッズガーデン北小岩 |
| 8 | 2021年4月 | 板橋区 | キッズスマイル板橋東坂下 |
| 9 | 2021年4月 | 小金井市 | キッズガーデン新小金井 |
| 民間教育・保育施設 | | | |
| 1 | 2021年4月 | 港区 | キッズガーデンクラスルーム広尾 アフタースクール広尾小学部 |
| 2 | 2021年10月 | 港区 | キッズガーデン南青山(プレップスクール) |

当社グループ初の
幼児と小学生のハ
イブリッド施設

当社グループ
フラッグシップ施設
25m専用プール完備
都内最大級(約2,200
㎡)の大型施設

認可保育所事業

- ・2021年4月に9施設開設し、計66施設に増加しました。
- ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策及び感染拡大防止に努めクラスターの発生を防止することができました。
- ・「選ばれる園」としてのサービス向上と、当社グループと株式会社伸芽会が共同開発した「KID'S PREP. PROGRAM」の展開など独自の価値提供に努め、既存園での園児数増加など、安定的な運営を行いました。

民間教育サービス事業

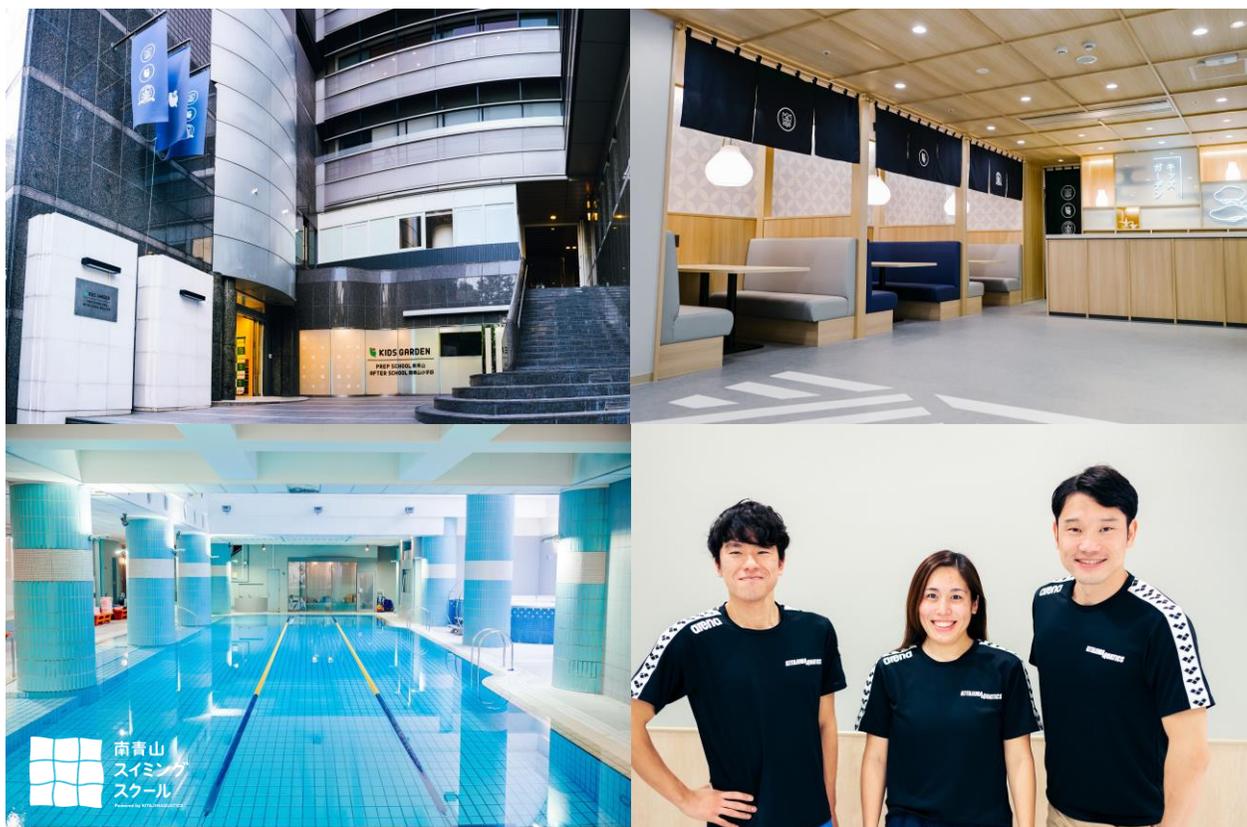
- ・教育感度の高い自由が丘、代官山、元麻布、広尾地域における既存施設は、当エリアにおいて優位なブランドを確立しています。
- ・2021年4月に、当社グループ初となる学童施設・幼児教室併設型施設「キッズガーデンアフタースクール広尾・キッズガーデンクラスルーム広尾」を開校しました。
- ・2021年10月に、当社グループのフラッグシップ施設となる「キッズガーデン南青山」を開校しました。当社が掲げる「1～9歳一貫教育」を実現する施設として、1～3歳を対象とするプレップスクールをスタートしました。25m専用プール完備し、都内最大級(約2,200㎡)の大型教育施設です。

※2022年4月1日には、「キッズガーデン南青山」において4～6歳を対象とするプレップスクール幼稚部をスタート。また、小学生対象の学童「キッズガーデン南青山アフタースクール」と「南青山スイミングスクール」を新規開校しております。

キッズガーデン南青山

KIDS SMILE HOLDINGS

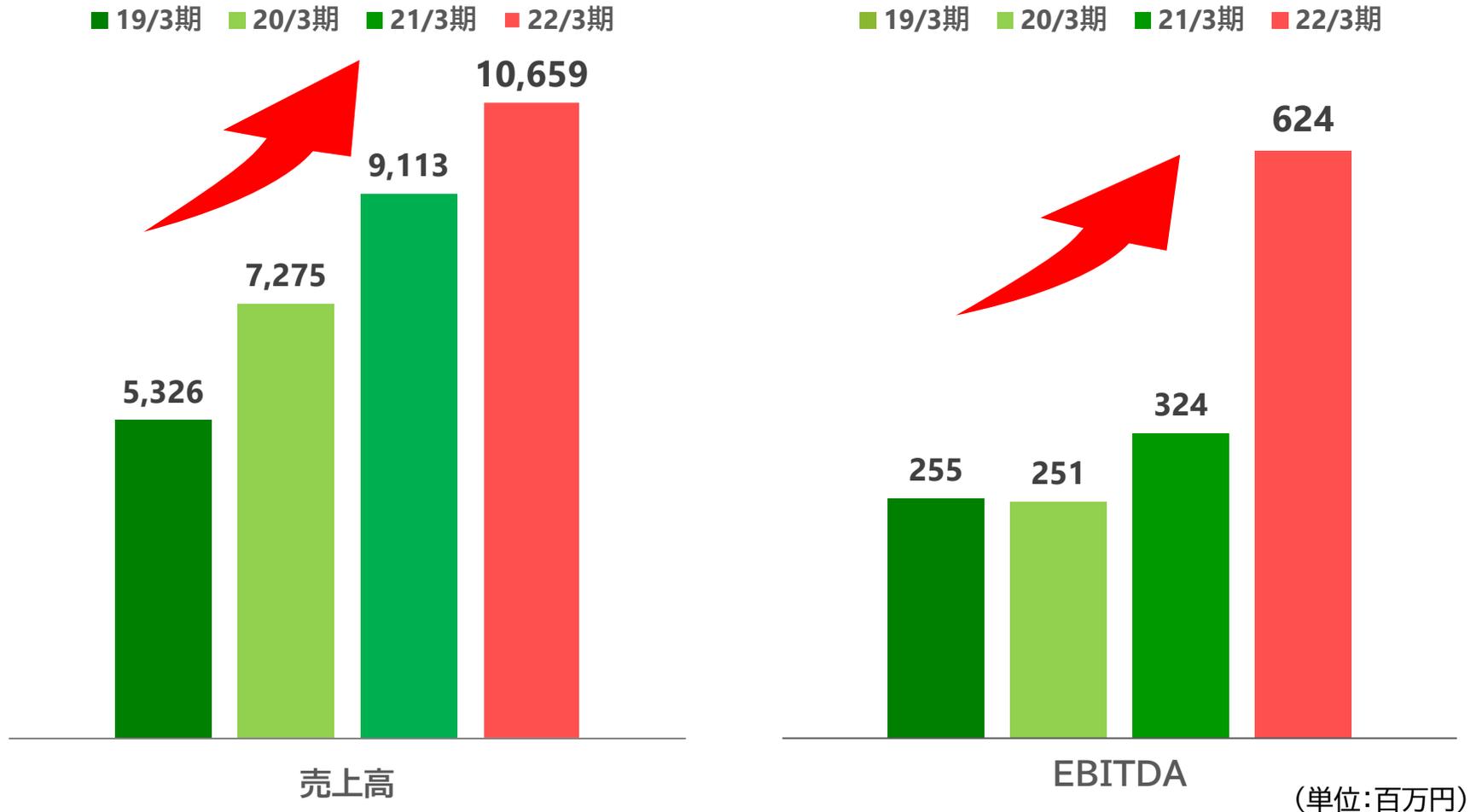
「1～9歳一貫教育」を実現するフラッグシップ施設「キッズガーデン南青山」を2021年10月1日に開校、1～3歳を対象にしたプレップスクールからスタートしました。2022年4月1日には、4～6歳を対象とするプレップスクール幼稚部コースを開始。また、小学生対象の学童「キッズガーデン南青山アフタースクール」と「南青山スイミングスクール」を新規開校しました。



- ・都内最大級(約2,200㎡)の大型保育・教育施設
- ・25m専用プール完備
- ・スイミングスクール運営で、北島康介氏が代表を務める株式会社IMPRINTと提携

2022年3月期 売上高・EBITDA推移

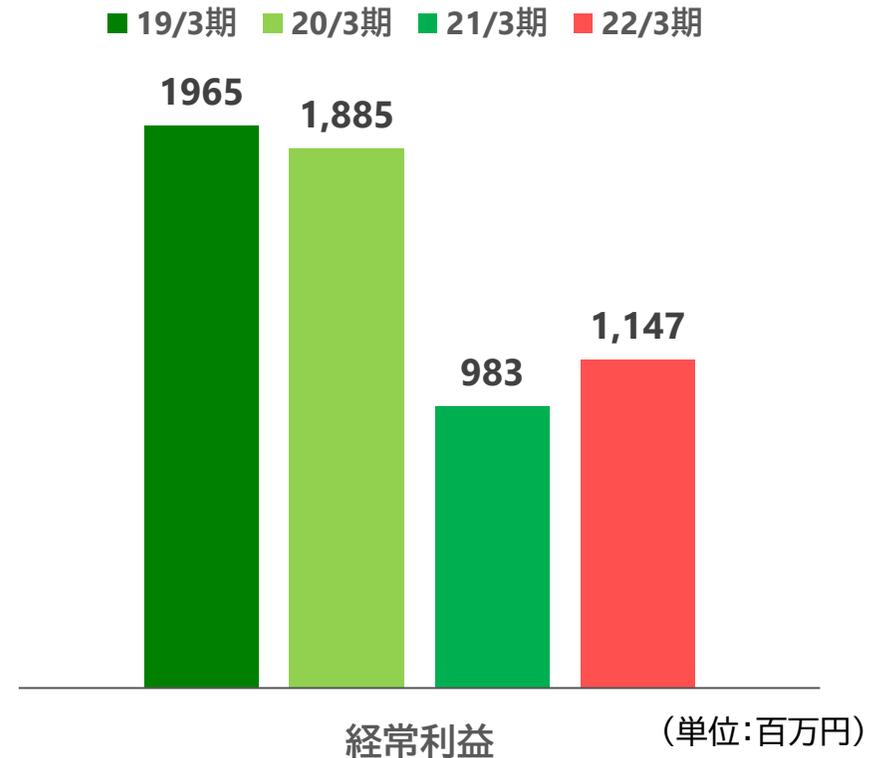
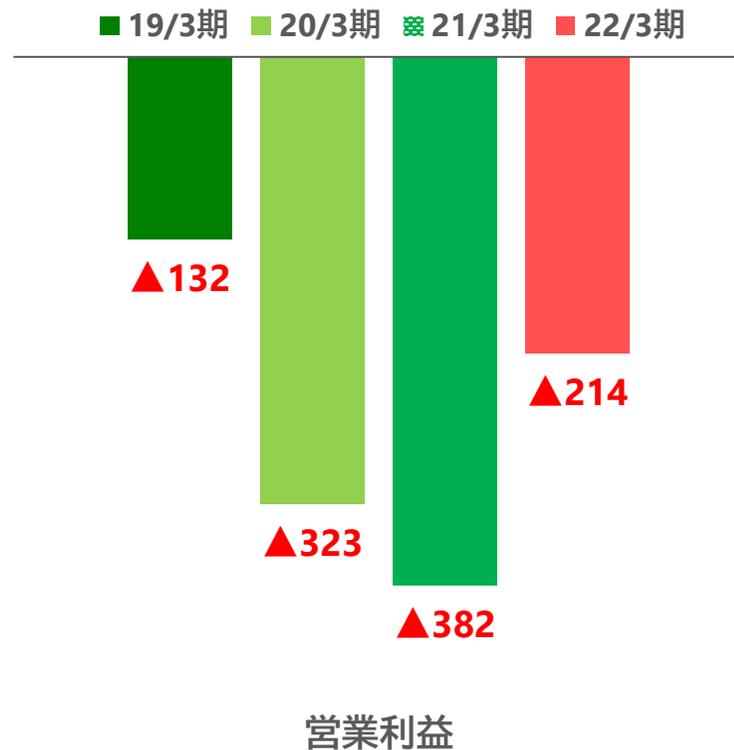
施設数及び既存園児童数増加に伴い、売上高、EBITDAとも順調に増加傾向で推移。



2022年3月期 営業利益・経常利益推移

新規開園の初期投資が計上されるため、営業利益は赤字傾向。既存施設の割合増加に伴い、営業利益の赤字は縮小傾向に転じた。

経常利益は、認可保育所の開設に伴う施設整備補助金による営業外収益により変動。



【認可保育所開園数】
2019年3月期：13園
2020年3月期：14園
2021年3月期：11園(内2園施設整備費補助金無し)
2022年3月期：9園

2022年3月期 PLサマリー

KIDS SMILE HOLDINGS

(単位:百万円)

| | 2021年3月期 | 2022年3月期 |
|---------------------|----------|---------------|
| 売上高 | 9,113 | 10,659 |
| 売上原価 | 8,254 | 9,629 |
| (減価償却費) | (691) | (825) |
| 売上総利益 | 858 | 1,029 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,240 | 1,244 |
| (減価償却費) | (14) | (13) |
| 営業利益 | ▲382 | ▲214 |
| EBITDA | 324 | 624 |
| 営業外損益 | 1,365 | 1,362 |
| (補助金収入) | (1,391) | (1,418) |
| 経常利益 | 983 | 1,147 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 547 | 686 |

2022年3月期 BSサマリー

KIDS SMILE HOLDINGS

(単位:百万円)

2021年3月期末

総資産13,944百万円
自己資本比率:37.9%

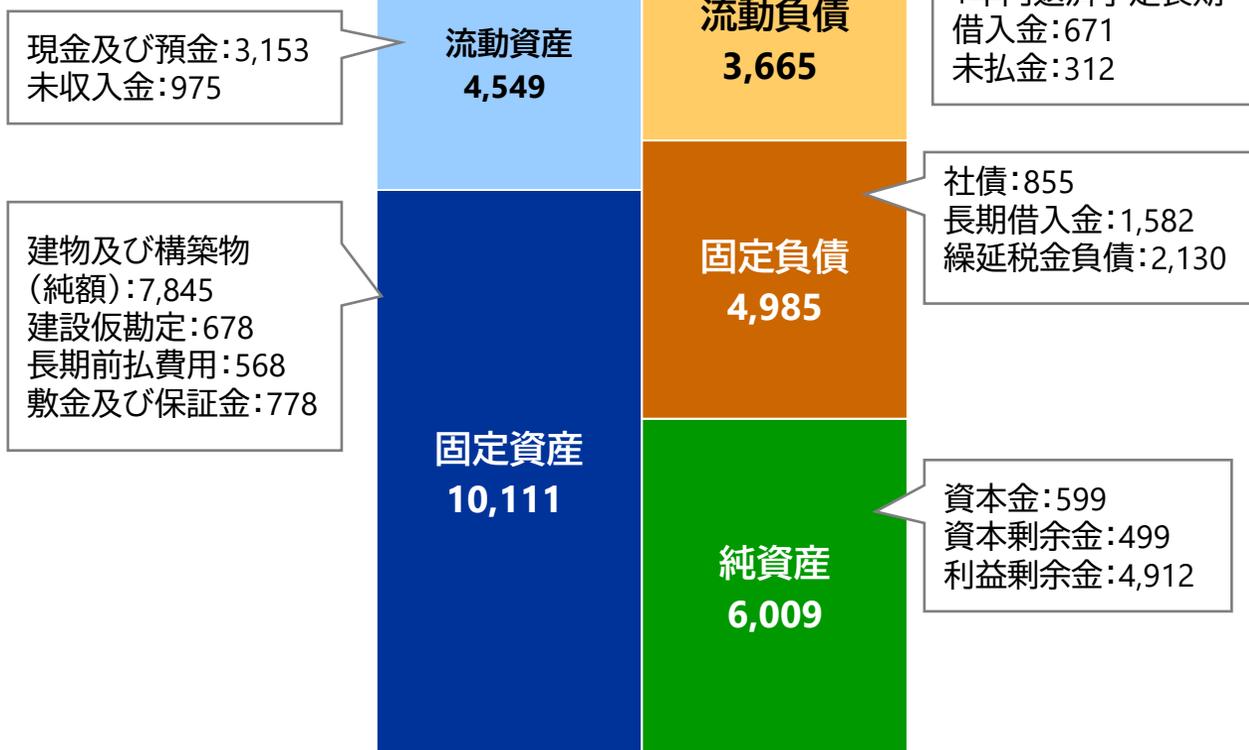


資産合計

負債・純資産合計

2022年3月期末

総資産14,660百万円
自己資本比率:41.0%



資産合計

負債・純資産合計

2023年3月期 業績予想

KIDS SMILE HOLDINGS

2023年3月期は、認可保育所事業の安定的成長による売上伸長と利益貢献があるものの、民間教育サービス事業は投資フェーズのため、売上は伸長するものの、投資コスト負担が先行いたしますが、売上は対前期増減+9.8% 営業利益は、マイナス幅が大きく縮減し損益分岐点に近づいております。

なお、2023年3月期の連結業績予想につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症等の影響が継続するという想定をしております。

(単位:百万円)

| | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期 業績予想 | 対前期増減率 |
|---------------------|----------------|------------------|--------|
| 売上高 | 10,659 | 11,700 | 9.8% |
| 営業利益 | ▲214 | ▲110 | — |
| 経常利益 | 1,147 | 260 | ▲77.4% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 686 | 160 | ▲76.7% |

免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご承知おきください。